

令和5（2023）年度 16ミリ映写機技術指導者研修 実施報告

実施日：令和5年5月11日（木）

市町等で開催する16ミリ映写機技術者養成講習会の運営や映写機の操作方法を指導するポイントなどを学び、講習会をスムーズに運営する留意点などを学ぶ研修です。今年度は、宇都宮市視聴覚ライブラリー職員や各教育事務所の視聴覚教育担当者など6名が受講しました。

○ 講話「16ミリ映写機の講習会の企画・運営について」

総合教育センター職員

はじめに、16ミリ映写機技術者養成講習会を開催する目的、実施要領と講習課程の内容、講義の際に留意すべき点、実習時に16ミリ映写機の操作方法を指導する際のポイントなどについて説明がありました。また、講習会では受講者を評価する学科と実技の試験があり、出題のポイントや実技を評価する際の着眼点などについて確認しました。

○ 実習「16ミリ映写機の操作実習」、DVD視聴「24コマの雨」

総合教育センター職員

16ミリ映写機の操作方法についての説明後、実際に映写機を操作しました。フィルムの装填から映写までの一連の操作を行い、講習会の実習で指導する際の注意すべき点を確認しました。また、フィルム接合機を使い、16ミリフィルムが切れた際の接合方法について学びました。

その後、DVD「24コマの雨」を視聴し、16ミリ映写機の特徴を理解すると共に、操作方法などについて再確認しました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・ 今回の学びを16ミリ映写機技術者養成講習会の運営に生かしたいと思う。
- ・ いろいろな16ミリ映写機に触れることができ、良い経験となった。また、講習会ではポイントを絞って指導できるようにしたい。
- ・ 映写機の操作について再確認することができた。今後は上映会などを企画し、16ミリフィルムなどを使用する機会をつくりたい。
- ・ まずは講習会や上映会を開催する目的をきちんと理解する必要があると思った。
- ・ 16ミリ映写機技術者として、ボランティアと協力して講習会や上映会を実施したいと思う。
- ・ 受講者同士のつながりをつくることができた、意義ある研修だった。



本研修は隔年開催です。次回開催は令和7（2025）年度の予定です。また、研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部までお願いします。 TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp